

脱サラ帰郷。会社員から漁師へ！

なかむら ゆうへい

橘湾東部漁業協同組合 中村雄平さん 26歳

漁業暦4年

中村さんは、年間を通じて複数の漁業を組み合わせで営まれています。

経歴



中村雄平さん

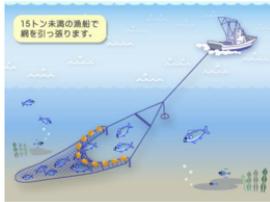
- 18歳 高校卒業後、県外に就職**
漁業に関心もなく漁の手伝いもほとんどしなかった。まったく関係ない県外の半導体製造会社に就職。
- 22歳 脱サラ、帰郷**
漁師である父親や親類からの紹介もあり、漁業技術取得を目指し、県の事業(生活費の助成)を活用して2年間の研修を始める。
- 24歳 漁船入手、独立**
研修終了後、県の事業を活用して漁船を入手して独立一本立ち。



中村さんは、小浜地区の数少ない若手漁師。県の補助事業を活用し、2年間地元のベテラン漁師から漁業技術を学んだ後、リース事業を活用して漁船を取得独立しました。
漁協の活動はもちろん、消防団にも所属し地元のために奮闘中です。
祖父、父親と続く漁師家族ではありませんでしたが、幼い頃は、漁業に興味は感じず、ほとんど家業の手伝いをしなかったそうで、地元の高卒卒業後、県外の会社に就職されました。
就職した会社も、特別に希望した職種でなかったこともあり、父からの電話で県の研修事業を紹介されたことから、軽い気持ちでUターンし、漁師への道を歩み始めたそうです。
現在では、漁業は、がんばれば頑張ったんりの見返りがあり、それはまた面白い仕事になってるそうです。今後、戻ってくる従兄弟と一緒に新たな漁法(すくい網)に取組み、漁獲から、煮干の加工まで取組むことを計画中です。

中村さんの操業スケジュール

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
小型底びき (魚)						帰港	出荷										出航								
選別 (エビ)																					出航				帰港



夕方港を出航し、2時間の曳網を4回行ない、朝のせりに間に合うよう翌朝5時ごろ港に戻ります。
エビを漁獲対象にする時期は、3時間程度曳網し夜中に帰港。選別作業を行い漁獲物を出荷します。



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
船曳き網						出航																			帰港



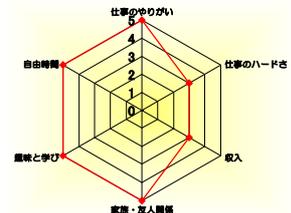
日の出前に出航し、午前中に1~2回操業し、いわしが獲れると加工場へ直行します。
2隻で網を曳くのは、地元でも中村さん親子だけになっています。



(年間操業形態)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	主な漁獲
小型底びき網			(ヒラメ、オコゼ)				(エビ)		(モチウオ)				クマエビ、ヒラメ、オコゼ、モチウオ(イボダイ)等
船曳き網													いわし
タコかご													まだこ
ほこ突き													なまこ、アワビ、サザエ
採藻													ひじき

中村さんの本音チャート



「漁業は頑張れば頑張ったんりのみかえりがあります。また、漁業は仕事としてもやって楽しいところも魅力です。」



中村浩平(父)

家族(父)の声

「特に何もないよ。」息子さんが、Uターンして漁業を始めた事について、感想を聞いたときのそっけない第一声でした。
つづけて、「若い漁業者が減っているなか、息子が戻ってくれ、甥っ子も帰ってくる見込みでもあり、現在操業している船曳き網に加え「すくい網」を新たにはじめ、加工まで一貫して行ない事業の幅を広げたいと思うとよ。」と、笑いながら話してくれ、今後中村さんの活躍に大きな期待を持たれているようでした。